



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場会社名 みらかホールディングス株式会社
 コード番号 4544 URL <http://www.miraca-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 博正
 (氏名) 北村 直樹

TEL 03-5909-3337

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	52,734	3.0	6,653	△6.8	6,368	△6.6	3,969	21.8
27年3月期第1四半期	51,208	1.2	7,138	3.6	6,819	△4.5	3,258	△23.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 6,915百万円 (448.7%) 27年3月期第1四半期 1,260百万円 (△85.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	69.73	69.59
27年3月期第1四半期	55.52	55.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	265,636	176,321	66.3	3,092.79
27年3月期	262,203	171,851	65.5	3,016.78

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 176,118百万円 27年3月期 171,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	46.00	—	46.00	92.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	105,300	3.0	14,000	△3.6	13,350	△7.8	7,450	△8.7	130.84
通期	210,000	2.6	27,700	2.5	26,950	1.4	16,900	5.6	296.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	57,193,766 株	27年3月期	57,137,966 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	248,780 株	27年3月期	248,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	56,931,458 株	27年3月期1Q	58,696,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年7月31日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ギリシャの債務問題や中国金融市場の混乱がもたらす不安定感の中、中国及び新興国で成長の鈍化が続いたものの、米国経済は再び回復局面となり、全体として緩やかな成長基調となりました。

わが国においては、企業業績や雇用状況の改善が進む中、景気回復基調が続きました。

臨床検査業界におきましては、引き続き価格低下圧力及び同業他社との競争激化を反映して、厳しい事業環境が継続しております。

このような環境のなか、当社グループといたしましてはさらなる成長を遂げるための経営諸施策に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果といたしまして、当第1四半期連結累計期間の売上高は52,734百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。国内受託臨床検査事業において検査価格の下落等により減収となったものの、臨床検査薬事業において海外での製品販売が伸長したこと、また円安が進行したことにより、結果として増収となりました。利益面では、国内受託臨床検査事業の減収による利益減を、臨床検査薬事業の増収による利益増が補いきれず、結果として営業利益は6,653百万円(前年同四半期比6.8%減)、経常利益6,368百万円(前年同四半期比6.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,969百万円(前年同四半期比21.8%増)となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

(セグメントの業績)

■ 臨床検査薬事業

海外における製品販売の伸長及び円安の進行を主因として増収となりました。利益面では、海外子会社の増収による利益増等により増益となりました。これらの結果、売上高は10,848百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益は2,475百万円(前年同四半期比12.1%増)となりました。

■ 受託臨床検査事業

国内事業が検査受託価格の下落を主要因として減収となった一方、円安の進行が海外事業の増収に寄与したことから、結果として増収となりました。利益面では、国内事業の減収を主要因として減益となりました。これらの結果、売上高は34,734百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は3,334百万円(前年同四半期比16.5%減)となりました。

■ ヘルスケア関連事業

滅菌事業につきましては、継続して受託病院の新規獲得に努めた結果、売上高は4,459百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。

治験事業につきましては、引き続き新規案件の獲得に注力しましたが、受注単価の下落などの要因から、売上高は1,186百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

これらの結果、ヘルスケア関連事業の売上高は7,151百万円(前年同四半期比1.4%減)、営業利益は812百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,432百万円増加し、265,636百万円となりました。その主な要因は、無形固定資産その他の増加1,507百万円、現金及び預金の増加1,188百万円、流動資産その他の増加516百万円及び投資有価証券の増加402百万円があった一方、建物及び構築物(純額)の減少425百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,037百万円減少し、89,314百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加5,000百万円及び流動負債その他の増加3,083百万円があった一方、未払法人税等の減少3,081百万円、賞与引当金の減少2,496百万円、長期借入金の減少1,850百万円及び支払手形及び買掛金の減少1,053百万円があったためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4,469百万円増加し、176,321百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3,969百万円及び為替換算調整勘定の増加2,652百万円があった一方、配当金の支払2,616百万円があったためであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8%増加し66.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,188百万円増加し、28,477百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は3,642百万円（前年同四半期1,583百万円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益6,369百万円、その他の流動負債の増加4,497百万円、非資金支出項目である減価償却費2,595百万円及びのれん償却額1,077百万円があった一方、法人税等の支払額5,459百万円、賞与引当金の減少2,514百万円、未払消費税等の減少1,121百万円及び仕入債務の減少1,046百万円があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は3,360百万円（前年同四半期2,626百万円の使用）となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出1,881百万円及び有形固定資産の取得による支出1,485百万円があったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により獲得した資金は496百万円（前年同四半期4,777百万円の使用）となりました。その主な要因は、短期借入金の増加5,000百万円があった一方、配当金の支払額2,600百万円及び長期借入金の返済による支出2,000百万円があったためであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月1日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

平成28年3月期の連結業績予想にかかる売上高は、臨床検査薬事業において国内及び海外でルミパルス試薬製品の増収を見込んでいること、また、受託臨床検査事業において国内の新規施設獲得と拡販及び海外子会社の増収を見込んでいることなどから、対前年同期比増収となる見通しであります。

利益面では、臨床検査薬事業におけるルミパルス製品の海外販売拡大のための一定の先行投資及び国内受託臨床検査事業におけるナビラボ稼働に伴う一定の費用増を見込む一方、主要各事業において増収による利益増を見込んでいることから、営業利益、経常利益、当期利益ともに対前年同期比増益の見通しであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,300	28,488
受取手形及び売掛金	38,734	38,813
商品及び製品	4,790	4,723
仕掛品	5,026	5,235
原材料及び貯蔵品	5,096	5,167
その他	11,540	12,057
貸倒引当金	△2,413	△2,321
流動資産合計	90,075	92,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,803	17,378
工具、器具及び備品(純額)	5,179	5,355
土地	8,920	8,922
その他(純額)	10,635	10,659
有形固定資産合計	42,537	42,315
無形固定資産		
のれん	59,428	59,480
顧客関連無形資産	31,467	31,534
ソフトウェア	2,416	2,279
その他	10,676	12,183
無形固定資産合計	103,989	105,477
投資その他の資産		
投資有価証券	17,869	18,271
その他	7,748	7,423
貸倒引当金	△17	△16
投資その他の資産合計	25,600	25,678
固定資産合計	172,127	173,472
資産合計	262,203	265,636

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,374	9,320
電子記録債務	1,437	1,485
短期借入金	-	5,000
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
未払金	5,868	5,903
未払法人税等	4,075	993
賞与引当金	4,638	2,142
その他	10,484	13,567
流動負債合計	42,879	44,413
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,150	10,300
退職給付に係る負債	4,345	4,263
資産除去債務	887	645
その他	20,088	19,692
固定負債合計	47,471	44,901
負債合計	90,351	89,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,666	8,767
資本剰余金	24,388	24,489
利益剰余金	105,224	106,577
自己株式	△1,209	△1,213
株主資本合計	137,071	138,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	891
為替換算調整勘定	34,198	36,851
退職給付に係る調整累計額	△251	△244
その他の包括利益累計額合計	34,553	37,498
新株予約権	227	202
純資産合計	171,851	176,321
負債純資産合計	262,203	265,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	51,208	52,734
売上原価	30,919	32,291
売上総利益	20,289	20,443
販売費及び一般管理費	13,150	13,790
営業利益	7,138	6,653
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	32	29
為替差益	-	138
その他	57	54
営業外収益合計	92	226
営業外費用		
支払利息	139	158
為替差損	25	-
持分法による投資損失	1	333
アドバイザー費用	214	-
その他	30	19
営業外費用合計	411	511
経常利益	6,819	6,368
特別利益		
固定資産売却益	1	1
新株予約権戻入益	9	9
特別利益合計	11	10
特別損失		
固定資産除却損	13	8
事業構造改善費用	757	-
その他	155	1
特別損失合計	926	9
税金等調整前四半期純利益	5,904	6,369
法人税、住民税及び事業税	2,211	1,613
法人税等調整額	433	786
法人税等合計	2,645	2,399
四半期純利益	3,258	3,969
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,258	3,969

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	3,258	3,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△338	285
為替換算調整勘定	△1,681	2,652
退職給付に係る調整額	21	7
その他の包括利益合計	△1,998	2,945
四半期包括利益	1,260	6,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,260	6,915

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,904	6,369
減価償却費	2,605	2,595
のれん償却額	971	1,077
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,695	△2,514
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76	△76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	253	△140
受取利息及び受取配当金	△35	△34
持分法による投資損益 (△は益)	1	333
支払利息	139	158
為替差損益 (△は益)	118	△366
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,139	124
たな卸資産の増減額 (△は増加)	34	△105
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,245	△485
仕入債務の増減額 (△は減少)	△368	△1,046
未払消費税等の増減額 (△は減少)	952	△1,121
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,779	4,497
その他	244	△35
小計	8,445	9,231
利息及び配当金の受取額	35	30
利息の支払額	△150	△159
法人税等の支払額	△6,746	△5,459
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583	3,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,305	△1,485
無形固定資産の取得による支出	△1,532	△1,881
その他	211	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,626	△3,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,000	△2,000
長期借入れによる収入	-	150
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	5,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△348	△195
株式の発行による収入	86	168
配当金の支払額	△2,496	△2,600
その他	△19	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,777	496
現金及び現金同等物に係る換算差額	△312	408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,133	1,188
現金及び現金同等物の期首残高	35,671	27,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,537	28,477

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,018	33,938	7,251	51,208	—	51,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	838	430	64	1,333	△1,333	—
計	10,857	34,368	7,315	52,541	△1,333	51,208
セグメント利益	2,207	3,993	929	7,130	8	7,138

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去570百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△562百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 薬事業	受託臨床 検査事業	ヘルスケア 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,848	34,734	7,151	52,734	—	52,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	881	431	24	1,337	△1,337	—
計	11,729	35,165	7,176	54,072	△1,337	52,734
セグメント利益	2,475	3,334	812	6,622	30	6,653

(注) 1. セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去590百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△559百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。